

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	・介護職と働く現場の理解 ・介護の職務に対して、具体的なイメージを持ってもらい、これからの研修に実践的に取り組めるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		<講義内容> 介護保険サービス (居宅、施設) 介護保険外サービス
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<講義内容> 居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容の理解 居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ケアプランから始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 <演習実施方法> 介護職の仕事内容についてグループワークを行う。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 184

商号又は名称 : 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚する。 ・自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあつたでの基本的視点と注意点を理解する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての尊重 ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止 <p><講義内容></p> <p>人権と尊厳の保持 介護分野における ICF QOL の考え方 個人の権利を守る制度の概要</p> <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数に分かれグループワークを行う
② 自立に向けた介護	3	1	2	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別性、個別ケア ・介護予防の考え方 <p><講義内容></p> <p>自立、自律支援 残存能力の活用 介護予防の考え方</p> <p><演習実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数に分かれてグループワークを行う
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<p><講義内容></p> <p>人権について 人権への取り組み 身近な人権のこと</p>
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職務におけるリスクと対応策を理解する ・利用者の個別性を理解し、生活を支えるという視点から支援を捉える 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と他職種との連携	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・他職種から成るチーム ・利用者主体の支援姿勢 ・訪問介護と施設介護サービスの違い <講義内容> 訪問介護と施設介護サービスの違い 地域包括ケアの方向性 利用者主体の支援体制
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<通信課題の内容> ・専門職の倫理の意義 ・介護の倫理 <講義内容> 専門職の倫理の意義 介護職としての社会的責任 <演習実施内容> 職業倫理についてグループにて話し合いを行う
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・リスクマネジメント <講義内容> リスクマネジメント 感染の原因と経路 <演習実施内容> 「リスクマネジメント」についてグループで話し合いを行う
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・感染症対策 ・腰痛の予防に関する知識 ・手洗い、うがいの励行 <講義内容> 介護職の心身の健康管理 ストレスマネジメント <演習実施内容> 介護職の安全についてテキスト内容を取り上げ実技を行う
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の目的の理解 ・サービス利用の流れ、各専門職の役割、責務についての理解 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・ケアマネジメント ・地域包括支援センターの設置 <講義内容> 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 要介護認定の手順 ケアマネジメント
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・施設における看護と介護の役割、連携 <講義内容> リハビリテーションの理念 医療行為と介護 施設における看護と介護の役割、連携 <演習実施方法> 講師による現場の話の聞き、テーマについてディスカッションを行う
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要 ・成年後見制度 <講義内容> 障がい者福祉制度の理念 障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ICF (国際生活機能分類)
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人のコミュニケーション能力の違いを理解する ・それぞれの人に対するコミュニケーションを取ることが専門職に求められる事を理解する 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非言語コミュニケーションの特徴 ・家族の心理的理解 ・視力、聴力の障がいに応じたコミュニケーション技術 <p><講義内容></p> <p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的 コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション 利用者、家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <p><演習実施方法></p> <p>コミュニケーションについてロールプレイングを行う</p>
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義、目的 ・介護における記録の種類 ・利用者の状態を踏まえた観察と記録 <p><講義内容></p> <p>記録における情報の共有化 報告、連絡、相談の留意点 コミュニケーションを促す環境</p> <p><演習実施方法></p> <p>報告、連絡、相談についてロールプレイングを行う</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における生理的側面の理解 ・加齢、老齢化に伴う心身の変化、特徴の理解 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・身体的機能の変化と日常生活への影響 ・防衛反応(反射)の変化 <講義内容> 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 <演習実施方法> グループでの事例検討を行う
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・筋力の低下と動き、姿勢の変化 ・循環器障がい ・誤嚥性肺炎 <講義内容> 高齢者の疾病と生活上の留意点 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 <演習実施方法> グループでの事例検討を行う
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方の理解 ・ 認知症の利用者とのコミュニケーションについての理解 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 認知症ケアの視点 <講義内容> 認知症ケアの理念 パーソンセンタードケア 認知症ケアの視点
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・ 認知症の原因疾患とその病態 <講義内容> 認知症の概念 認知症の原因疾患とその病態 原因疾患別ケアのポイント <演習実施方法> グループワークにて認知症のケアを演習形式で行う
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・ 認知症の利用者への対応 ・ 認知症の中核症状 ・ すべての援助行為がコミュニケーションであると考えてこと <講義内容> 認知症の人の生活障がい、心理、行動の特徴 認知症の利用者への対応 認知症の進行に合わせたケア <演習実施方法> グループワークにて認知症のケアを演習形式で行う
④ 家族への支援	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 認知症の受容過程での援助 <講義内容> 認知症の需要過程での援助 介護負担の軽減 (レスパイトケア) <演習実施方法> 家族への支援のロールプレイングを行う
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいの特性と介護上の留意点の理解 ・ 障がいの受容のプロセスと基本的な介護の考え方の理解 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・ ICF の分類と医学的分類 ・ ICF の考え方 <講義内容> 障がい概念と ICF 障がい者福祉の基本理念 ノーマライゼーションの概念 <演習実施方法> 障がいについてテーマを取り上げディスカッション行う
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 高次脳機能障がい ・ 身体障がい ・ 知的障がい ・ 精神障がい <講義内容> 身体障がい 知的障がい 精神障がい (高次脳機能障がい、発達障がい) その他の心理の機能障がい
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 障がいの理解、障がいの受容支援 <講義内容> 家族への支援 障がいの理解、受容支援 介護負担の軽減
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

シラバス

指定番号 : 184
 商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造や機能に関する知識の習得 ・持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅、地域等での生活を支える介護技術や知識の習得 ・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則の理解 ・体位交換と移動、移乗の意味と関連する用具や機器の基本的使用方法 ・ターミナルケアの考え方と対応のしかた、介護職の役割や他の職種との連携の理解 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	4	0.5	3.5	<通信学習課題の内容> ・我流介護の排除 ・介護の基本的な考え方 <講義内容> 倫理に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除） 法的根拠に基づく介護
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4.5	0.5	4	<通信学習課題の内容> ・学習と記憶の基礎知識 <講義内容> 自己概念と生きがい 老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 こころの持ち方が行動に与える影響 からだの状態がこころに与える影響
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4.5	0.5	4	<通信学習課題の内容> ・ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 <講義内容> 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 こころとからだを一体的に捉える 利用者の様子の普段との違いに気づく視点
④ 生活と家事	7	7		<講義内容> 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 自立支援 予防的な対応 多様な生活習慣 <演習実施方法> 家事援助に関するロールプレイングを行う

⑤ 快適な居住環境整備と介護	5	5		<p><講義内容> 高齢者、障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 バリアフリー 福祉用具貸与</p> <p><演習実施方法> 実際の福祉用具を使い演習を行う</p>
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p><講義内容> 整容に関する基礎知識 整容の支援技術 身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 洗面の意義、効果</p> <p><演習実施方法> 衣服の着脱をテーマに様々なシチュエーションでの介助を行う</p>
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p><講義内容> 移動、移乗に関する基礎知識 さまざまな移動、移乗に関する用具とその活用方法 利用者と介護者の双方が安全で安楽方法 残存能力の活用、自立支援</p> <p><演習実施方法> ベッド上や車いす等を使用した介助を実際に行う 褥瘡予防についてディスカッションを行う</p>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p><講義内容> 食事と社会参加の留意点 食事をする意味 食事のケアに対する介護者の意識 誤嚥性肺炎の予防</p> <p><演習実施方法> 介助される側と介助する側に分かれて実際に食事介助を行う</p>
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p><講義内容> 体調の確認 羞恥心や遠慮への配慮 楽しい入浴を阻害するところとからだの要因</p> <p><演習実施方法> 実際の浴槽を使用し、入浴介助のロールプレイングを行う</p>
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<p><講義内容> さまざまな排泄環境整備と排泄用具の使用方法 プライバシーの確保 排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担、尊厳や生きる意欲との関連</p> <p><演習実施方法> 紙オムツについてのロールプレイングを行う ポータブルトイレを利用した介助のロールプレイングを行う</p>

⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<講義内容> 快い睡眠を阻害するところとからだの要因 睡眠に関する基礎知識 安眠のための介護の工夫 安楽な姿勢、褥瘡予防 <演習実施方法> ベッドメイキングの方法のロールプレイングを行う
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3		<講義内容> 終末期に関するところとからだのしくみ 生から死への過程 「死」に向き合うところの理解 介護従事者の基本的態度 <演習実施方法> ターミナルケアのグループディスカッションを行う
⑬ 介護過程の基礎的理解	3.5	3.5		<講義内容> 介護過程の目的、意義、展開 介護過程とチームアプローチ <演習実施方法> 介護過程におけるグループディスカッションを行う
⑭ 総合生活支援技術	7.5	7.5		<講義内容> 利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する 一連の生活支援を提供する流れ <演習実施方法> テキストの事例を基に事例検討を行う
(合計時間数)	75	63.5	11.5	

使用する機器・備品等	ポータブルトイレ、バケツ、浴槽手すり、踏み台、手すり、エプロン、コップ、スプーン、おわん、お茶碗、お盆、お箸、アイマスク、枕（丸）、枕（四角）、オムツカバー、洗面器、ブラシ、差し込み便器、安楽便器、ポリ尿器、浴用手桶、はげ、シャンプーハット、杖、ごみ箱、ポット、湯呑み、急須、ベッド、クッション、ベットマット、タオルケット、車椅子、福祉用具、歩行器、椅子、テーブル、ストロー、フォーク、紙オムツ、パッド、シャンプー、リンス、ドライヤー、バスタオル
------------	---

(別添 2 - 2)

平成 27 年 8 月 10 日現在

シラバス

指定番号 : 184
商号又は名称: 医療法人浩治会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	・研修全体を振り返り、学んだことの再確認 ・就業後も継続して学習、研鑽する姿勢の形成 ・業務における基本的態度の視点をもって介護を行えるよう理解を促す			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	3	3		<講義内容> 研修を通して学んだこと 今後継続して学ぶべきこと 根拠に基づく介護についての要点
② 就業への備えと研修修了後における事例	1	1		<講義内容> 継続的に学ぶこと 研修終了後における継続的な研修についての実例 <演習実施方法> 介護施設で働く介護士の日常の事例紹介 質疑応答
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--